



マナーツル

マナーを守って バードウォッチングを楽しもう!

自然からさまざまな恩恵を受けている私たちは、ふだんから自然を大事にしなければなりません。まして積極的に自然の中へ出かけ、バードウォッチングという形で深くふれあおうとすれば、自然に対してより心を配らなければならないでしょう。自然の恵みをより多く受けるからというだけでなく、自然の中へ深く入り込むことで影響を与える度合いが大きくなるからです。

野外活動でのこのような心遣い、つまり基本的なルールを「フィールドマナー」と呼びます。日本野鳥の会では「や・さ・し・い・き・も・ち」の7文字からはじまる標語を提唱しています。これからバードウォッチングを始められる方も、既にバードウォッチングをされている方も、是非、フィールドマナー「や・さ・し・い・き・も・ち」を忘れずに、野鳥や自然とのふれあいを楽しんでください。

や 野外活動、無理なく楽しく

自然は、人のためだけにあるものではありません。思わぬ危険が潜んでいるかもしれないのです。知識とゆとりを持って、安全に行動するようにしましょう。

さ 採集は控えて、自然はそのままに

自然は野鳥のすみかであり、多くの生物は彼らの食べ物でもあります。あるがままを見ることで、いまままで気づかなかった世界が広がります。むやみに捕ることは慎みましょう(みんなで楽しむ探鳥会では、採集禁止が普通)。

し 静かに、そーっと

野鳥など野生動物は人を恐れるものが多く、大きな音や動作を警戒します。静かにしていれば彼らを脅かさずにすみませし、小さな鳴き声や羽音など自然の音を楽しむこともできます。

い 一本道、道からはずれないで

危険を避けるため、自然を傷つけないため、田畑の所有者などそこにくらす人に迷惑をかけないためにも道をはずれないようにしましょう。

き 気をつけよう、写真、給餌、人への迷惑

撮影が、野生生物や周囲の自然に悪影響を及ぼす場合もあるので、対象の生物や周囲の環境をよく理解した上で影響がないようつとめましょう。餌を与える行為も、カラスやハトのように人の生活と軋轢が生じている生物、生態系に影響を与えている移入種、水質悪化が指摘されている場所などでは控える必要があります。また、写真撮影や給餌、観察が地元の人や周囲の人に誤解やストレスを与える場合もあるので、十分な配慮をしましょう。

も 持って帰ろう、思い出とゴミ

ゴミは家まで持ち帰って処理しましょう。ビニールやプラスチックが鳥たちを死にいたらしめることがあります。またお弁当の食べ残し等が雑食性の生物を増やすことで、自然のバランスに悪影響を与えます。責任を持ってゴミを始末することは、誰でもできる自然保護活動です。

ち 近づかないで、野鳥の巣

子育ての季節、親鳥は特に神経質になるものが多く、危険を感じたり、巣のまわりの様子に変化すると、巣を捨ててしまうことがあります。特に、巣の近くでの撮影はヒナを死にいたらしめることもあるので、野鳥の習性を熟知していない場合は避けましょう。また、巣立ったばかりのヒナは迷子のように見えますが、親鳥が潜んでいることが多いので、間違えて拾ってこないようにしましょう。





■ 特に気をつけよう！ 野鳥写真マナー

写真を撮ったり印刷物に掲載したりネットで公開したりする場合は、以下のマナーも守ってください。

- ①営巣中の巣、巣にいるヒナ、巣に入ろうとする親鳥など子育ての様子の撮影は避けましょう。
- ②餌付け、音声による誘引、ストロボなどの使用は避けましょう。
- ③公共の場所などでは、植物の移植や剪定、土や石の移動といった環境の改変は控えましょう。



■ こんな点にも注意しよう！ 観察や撮影に共通する大切なマナー

- ①国内への渡来が少ない珍しい野鳥は、生息地や渡りのルートから外れて飛来したケースが多く、弱っていることもあります。その鳥が十分に休めるように、接近し過ぎや驚かせて飛ばしてしまうような観察や撮影は避けましょう。
- ②珍しい野鳥の観察情報をネットに発信したりマスコミなどへ提供したりする場合は、その場所に観察する人が大勢集まりトラブルになることもあるので、地域での事前相談も行うようにしましょう。
- ③道で集団になったり三脚を並べたりすると、通行の迷惑になります。また、駐車も近隣の迷惑にならないよう十分配慮しましょう。
- ④近隣の方々の生活を覗くような形にならないよう、双眼鏡やカメラの向け方に注意しましょう。

日本野鳥の会とは

日本野鳥の会は1934年に創設された自然保護団体です。自然と人間が共存する豊かな社会の実現を目指し、野鳥や自然のすばらしさを伝えながら自然保護を進めています。会員・サポーター数は約5万人。資格や年齢制限は無く、どなたでもご入会いただけます。あなたも自然を守る仲間になりませんか。

日本野鳥の会ホームページ：<http://www.wbsj.org>

探鳥会に行ってみよう

探鳥会は日本野鳥の会の支部が主催している、バードウォッチング・イベントです。全国各地で、週末を中心に年間約3,000回開催されています。野鳥や自然に詳しいリーダーが、親切にバードウォッチングのコツを教えてください。初めての方でも安心！どうぞお気軽にご参加ください。

◎探鳥会情報はこちらから→ <http://www.wbsj.org/shibu/tancho/>

発行：(財)日本野鳥の会・普及室

TEL: 03-5436-2622 FAX: 03-5436-2635

〒141-0031 東京都品川区西五反田3-9-23丸和ビル